

# 気泡緩衝材について

## 誕生

気泡緩衝材(いわゆるプチプチ)は1957年、アメリカの2人の技術者が偶然発明しました。

2人は簡単に清掃できる壁紙を作ろうと、紙の上に布地の模様をつけたビニールをかぶせた壁紙を開発しようとしたが、この時誤ってビニールに気泡が出来てしまったことから気泡緩衝材が誕生しました。

2人はシールド・エア・コーポレーションを1960年に設立しており、「Bubble Wrap」はこの会社の登録商標になっています。

現在はポリエチレンを原料に製造され、焼却時に塩化水素、ダイオキシンなどの有害物質を発生しないようになっています。

## 日本の製造メーカーと商品の名称

メーカーによって様々な名称がありますが、「プチプチ」と言えば必ず通じます。

メーカー名	名称
川上産業株式会社	プチプチ
酒井化学工業株式会社	ミナパック
株式会社和泉	エアセルマット
株式会社ジェイエスピー	キャブロン
積水化学工業株式会社	エアパック
宇部フィルム株式会社	エアーキャップ
山村産業株式会社	ラミキャップ
大同商工株式会社	セルマット
伊藤忠サンプラス株式会社	サンマット

## 同等品

気泡緩衝材の市場はかなり成熟してきているといえます。

各メーカー毎に付加価値をつけた新商品を開発していますが、基本的な原反ロールの規格はほとんど「同等品」が存在します。御社でお使いのメーカー、品番をお知らせして頂ければより単価の安いアイテムを見積らせて頂きますので、弊社営業担当者にお気軽にお問い合わせ下さい。